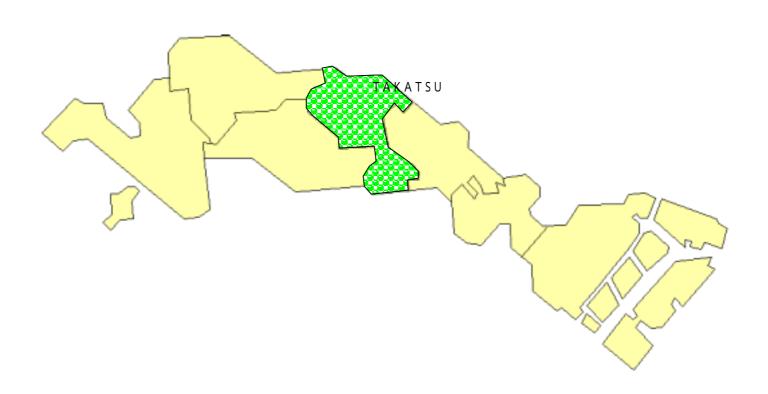
# 高津区地域福祉計画

~生まれ、育ち、老いる、健やかな高津をめざして~







#### はじめに

高津区では、区の地域福祉計画(以下計画)の策定に向けて、区民委員を公募し、各団体 や関係機関から代表委員を選出していただき、9月から検討してきました。

まず、高津区社会福祉協議会・民生委員児童委員協議会会長と区長の対談において、「区がめざす福祉のまちづくり」「これからのまちづくりの重点課題とは」等の地域福祉の課題について明らかにしました。また、各関係団体の方にインタビューを行い、その活動についての御意見を伺いました。一方、高津区の統計資料等を基に、子どもとその家族や高齢者、障害者の実態を職員や策定委員で検討を進めました。

元々、高津区には、区民が主体となってまちづくりについてまとめた、まちづくりビジョン「歩きたくなる高津」があり、その中に「耕そう、地域コミュニティ」と題して、地域の問題を解決する新しい仕組みづくりが述べられています。計画は、このビジョンを大切にし、明らかになった課題と併せて、「生まれ、育ち、老いる健やかな高津を区民が主体となってめざし、全ての人が、お互いに地域の健康や福祉について考え、心豊かに暮らせる福祉のまちを作る」ことを目標に掲げました。さらに、その内容を、「子育て世代にとって住みやすいまち」「高齢者・障害者が集い賑わうことのできる安全なまち」「交流・ふれあいのあるまち」をめざし、向こう三軒両隣の精神から生まれる、心の交流を広げられるようなまちづくりを目指すこととしました。

また、交流のきっかけを生み出す拠点の活用も重要であることから、区内の公共施設や民間の施設に、施設開放状況のアンケート調査をお願いしました。この結果につきましては、 区民の方にも情報提供ができればと考えております。

そして、このようなまちづくりを行っていくためには、今後、各団体や関係機関等と連携を持ちながら、16年度以降の福祉のまちづくりを推進していくために、何ができるかをともに考えていきたいと思っています。その検討を進めながら、地域福祉を推進するネットワークを作っていく予定です。

この計画は平成16年度からの5ヵ年計画で、3年後に見直しがはいる予定です。今後、 市、区、社会福祉協議会の計画が連動し、計画を実施していきたいと考えております。

# 目 次

| <b>                                      </b> | 3 (対談の要約) 1 |
|-----------------------------------------------|-------------|
|                                               |             |
| 福祉のまちづくりをめざして                                 | 2           |
|                                               |             |
| 章 高津区の目標                                      | 4           |
|                                               |             |
| 章 まちづくりの重点課題                                  | 5           |
|                                               |             |
| 章 計画の具体的な推進のために                               | 9           |
|                                               |             |
| 地域福祉計画を推進するために                                | 14          |

## 資料編

- 1.高津区の特徴
- 2. 社会資源の状況 施設アンケート結果より -
- 3.市民活動の状況 区民活動団体インタビュー結果より -
- 4.対象別の状況と課題

子育て

高齢者

障害者

健康づくり

- 5.(参考)用語解説
- 6 . 高津区地域福祉計画策定委員会開催経過及び策定委員名簿

用語の解説は、\*印でP26に一括掲載しています。

## 高津区がめざす福祉のまちづくりを語る (対談の要約)

# 歩きたくなる高津





高津区がめざす福祉の

まちづくりとは・・

対談テーマ

地域福祉を考えていく

上で特に重要なことは・・



高井弘勝 高津区長

高津は、もうすぐ人口が 20 万人になります。それだけ人口が増えるのは、新住民が増えるということで、そこでどれだけ地域で支え合っていくのかが、課題となってきます。 対談テーマ

まず、これから子育てを始める世代に とって、住みやすいまちを作っていきた いと思います。

また、高齢者の方や身障者の方に、集 い賑わっていただくための「安全な町に」ということでは、区としては努力しております。

これからは、高齢者夫婦の世帯も多いので、その支援も考えていく必要があります。また拠点の確保も、

ぜひ進めていきたい。公共施設で、未活用 のところの情報を整理し、インターネット などで、いろんな情報提供の設備も整えて いければと考えています。

高津区で生まれ育った方と、それから 新たに新住の方が来て交流していく、この課題は なかなか難しいところですが、何とか克服する対策が 必要です。そして、子どもも高齢者も一緒に集まれる ような、ワークステーション的な施設を確保していき たいと思います。

市民活動の視点という部分では、市民 の方もそういう意識が芽生えてきている のかな、という感じがします。

また「高齢者パワー」を活用するよう な時代に入りつつあるのではないかとも 感じています。

行財政がますます厳しくなる中で、行政が全てをやれる時代では無くなりました。市民活動が活発になれば、行政は市民活動のサポート的な立場になっていくべきだと思います。やはり拠点をしっかりと整備して、区民と行政、関係機関の連携を図り、市民の方に自主管理をお願いできるような公設民営の方向をめざす必要があります。

高津区社会福祉協議会·民生委員児童委員協議会 斉藤二郎 会長

高津区の人口増加率は高く、すぐに 20 万人口にな り、住みやすい高津をめざしていくことが

大切だと思います。

マンションが立ち並び、新旧住民の融和問題はこれから難しくなるでしょう。高津区は、新しい住民を差別化する土壌は無いはずです

から、町内会・自治会に新しい方もドンドン入っていただいて、交流の輪を広げていくことが大事だと思います。

高齢者の方の見守りも子育てと一緒で、これが一緒にできていくと全てうまくいくだろうと思います。拠点の整備はぜひお願いしたい。運営は住民がしていけばよい。また、区の段階でも、高齢者福祉や子育て

情報など、情報を集約・一元化できるものを

作ってほしい。高津区は高津区として、社会福祉協議会は社会福祉協議会で作り、お互いにリンクさせれば良いのです。

対談テーマ れが一緒にできているうと思います。 独したい。 運営は住民また、区の段階でも

行政としては、これまでは行政がやっていた福祉を、 \_\_\_\_\_ これからは地域住民がやるんですよという

意識を持っていただくことを、くどいほどに 言い続けていく必要がある。

町内会の中にも、福祉部、厚生部等が組織 化されていると思いますので、そのあたりと の連携を進める必要があります。

町内会や自治会、社会福祉協議会、民生委員児童 委員協議会、みな「地域住民の幸せ」という活動目的 はひとつですが、ただそれぞれの団体がやる手法が違 うのが現状です。何が得意かは、それぞれの団体にあ るわけで、それが有機的に団結すれば、地域連帯の強 化は図れるはずだと考えています。

# 福祉のまちづくりをめざして一高津区地域福祉計画の推進方向一

# \*\*生まれ、育ち、老いる、

「生まれ、育ち、老いる、健やかな高津」を 地域の健康や福祉について考え、「心豊か

3 つのまちづ

が 賑やかで・

子育て世代にとって住みやすい町をめざします。

Circle 住みやすいまち

高齢者・障害者が 安全なまち

関係機関

町内会·自治会

自主活動グルーク

老人クラブ・母親クラブ

区、保健福祉センター

#### 具体的な推進項目

高齢者、子育て経験者等による子育て相談機能の整備 育児をする方が育児に主体的にかかわれるような支援活動

地域で見守り・育てる、子育ての環境づくり

子育ての情報ネットワークの検討、まずは区ホームページ等 の検討

子育てをしている親が健やかに暮らせるよう支援の推進

高齢者、障害者等生活に支

地域社会活動における高齢

母親クラブ、老人クラブ等 のあり方の検討

遊休施設を活用した「たま 及び市民活動団体の自主的

高齢者、障害者が歩きやす 置自転車対策の推進

活動に参加するための送迎

健康的な食生活を営むため

# 健やかな高津をめざして

区民が主体となってめざし、全ての人が、お互いに に暮らせる福祉のまち」を作っていきます。

くり重点課題

安全なまち

マ交流・ふれあいのあるまち

集い賑わうことのできる をめざします。

地域に根ざしたネットワークのある人と、 高津区に新しく住む人との交流・ふれあいのあるまち をめざします。

社会福祉協議会

民生委員·児童委員協議会

介護保険、支援費制度事業者

たかつ地域福祉

ネットワーク

**高齢者・障害者施設等** 

各団体(医師会・歯科医師会・看護協会等)

地域商店街





援の必要な方の対策の推進

者パワーの活用

の地域活動の横断的展開、社会貢献

り場」的な拠点(ブランチ)の確保 活動による拠点の管理運営の推進

い歩道、空間の整備及び駅周辺の放

ボランティア活動等の充実

の関係機関・団体の連携強化

支えあい意識の高揚と区民が中心となる福祉のまちづくりの 推進

高齢者、障害者、子どもたちのふれあいの確保・交流の推進

防犯・防災ネットワーク確立による地域連帯の強化と安全なま ちづくりの推進

#### 章 高津区の目標 ~ 福祉のまちづくりをめざして~

「生まれ、育ち、老いる、健やかな高津」を区民が主体となってめざし、全ての人が、 お互いに地域の健康や福祉について考え、「心豊かに暮らせる福祉のまち」をつくっ ていきます。

# 

子どもから高齢者まで、また、疾病や障害があっても、誰にでも住みやすく、住み続けたい区でありたいと考えています。特に子育て世代が、周囲との関係を良好に保ちながら子どもを育て、住み続けられるまちをめざしています。着社のコミュニティとして、まず、子育てにやさしいまちづくりを考えています。

# 2 高齢者・障害者が集い賑わうことのできる安全なまち

高齢者や障害者、子育で中の方が住みやすいまちは、健康な方にも住みやすいまちと考えます。まちの中に集う場所があることと、安全で動きやすいまちづくりがすすむことで、孤立や引きこもり、体力の低下等の防止につながります。

また、そのことにより、健康な心身を育み、仲間と共にいきいきと助け合うことが可能になります。高津区にある活動の拠点が有効に活用できるように努め、新たな場所を区民の方と相互に協力しながら拡大していきます。

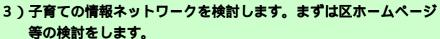
# 3 地域に根ざしたネットワークのある人と、高津区に 新しく住むの人との交流・ふれあいのあるまち

高津区は南武線と、田園都市線が 交差し、バスを含めて交通の利便性 に恵まれています。また、新たな住 宅(マンション)の建設も盛んで、 人口の社会増も多く、移り住む若い 世代が多くいます。反面、町内会組 織や社会福祉協議会、民生委員児童 委員など従来からの組織活動も活発 で、ボランティア活動や健康づくり 活動の基盤となっています。

新たに高津区に移り住んだ方と、 生まれ・育ちこのまちにネットワークのある方が、「向こう三軒両隣」の 交流を深められればと考えています。地域で福祉を推進するときの協働・パートナーシップ関係を住民相互で作っていくまちをめざします。



- 1)高齢者、子育て経験者等による子育て相談機能の整備を図ります。 また、育児をする方が育児に主体的にかかわれるよう支援します。
- ■健康診査や子育てに関する知識を得たり相談する場を充実します。
- 参家族、特に父親が子育てに関心を持てるように支援します。
- 2)地域で見守り・育てる、子育ての環境づくりをします。
- 🚄 地域ぐるみで子育てをし、子ども達が健やかに生まれ育つ環境づく りに努めます。
- 行政・関係機関・関係団体の連携を深めます。特に、NPO等市民 活動との連携も深めていきます。
- ─ 小児医療の充実を図り、夜間救急の問題等を検討していきます。
- ■子どもへの虐待の予防や早期発見に努めます。
- ■あらゆる状況の保護者が安心して子どもを預けられる場所や、子育 て支援の情報を得やすくしていきます。
- ●母子世帯になっても孤立しないで暮らせるまちづくりをめざしま。 す。

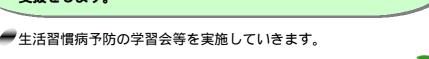




一子育てに関する人材の育成と連携を図ります。

- ●施設・団体・区民の方と協力し、子育てに関する情報を提供しま す。
- ●他区や他都市の情報収集を図り、併せて提供していきます。
- ──関係機関の有機的な連携を検討していきます。
- 4)子育てをしている親が生活習慣を工夫し、健やかに暮らせるよう 支援をします。







# 言幹者・障害者が集い

#### 1)高齢者、障害者等生活に支援の必要な方の対策の推進を図ります。

- 高齢者、障害者等生活に支援の必要な方も含めた全ての人が、共に支えあい、見守りながら生活する安全なまちづくりに努めます。
- ─ 障害者の生活に活用できる社会制度や資源の情報提供のシステム 化を図ります。
- ─ 障害(精神・知的・身体)に関する理解を深め、その障害の相談窓口の周知を図ります。
- アルコール・薬物等依存に関する知識の普及に努めます。
- 要介護者の介護方法の学習や、介護者の交流を図ります。
- 要介護者の介護サービスの充実を介護支援事業者やサービス事業者と共に図ります。
- ■高齢者や障害者の権利擁護をすすめます。
- ─保健福祉センターで各種の相談を行うときの窓口として、保健福祉相談窓口の機能を充実させ、各支援担当との連携を図ります。
- ── 一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の、見守りを充実させます。
- → 防犯・防災のネットワークを作り、高齢者、障害者等生活に支援 の必要な方の安全を図ります。

#### 2)地域社会活動における高齢者パワーの活用を図ります。

- ─ 元気な高齢者の地域活動への参加を働きかけます。
- まちづくりを共に考える機会をつくります。特に 高齢者や障害者・子育て中の方が溶け込んで暮ら せるまちをめざします。
- 参ミニデイケアの参加などを通して、引きこもりの 予防や介護予防の充実を図ります。また、その学 習の機会を設けます。
- 高齢者施設の活用を地域と共に検討していきます。





- 3)母親クラブ、老人クラブ等の地域活動の横断的展開、 社会貢献のあり方を検討します。
- 4)施設を活用した「たまり場」的な拠点(ブランチ)の確保をします。 また、市民活動団体の自主的活動による拠点の管理運営を進めます。
- 世代間交流も含めた「老人いこいの家」「こども文化センター」等の活用を図ります。
- 区内施設の利用可能状況を明らかにし、情報の提供を図ります。
- 5)高齢者、障害者が歩きやすい歩道、空間の整備を進めます。 特に駅周辺の放置自転車対策を推進します。
- 6)活動に参加するための送迎ボランティア活動等の充実を図ります。
- 7)健康的な食生活が営めるよう、関係機関・団体が連携しながら取り組みます。





# 1)支えあい意識の高揚を図り、福祉のまちづくりを区民が中心に推進することを支援します。

- 町内会、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会等の連携による地域福祉の強化を図ります。
- 地域福祉を区民が中心に構築していく取りり組みを支援していきます。また、PRに努めます。
- 地域連携強化に向けた行事の検討をしていきます。
- ─ 挨拶をかわすことのできる、隣近所が交流できるまちをめざします。
- 2)高齢者、障害者、子どもたちのふれあいの確 保・交流の推進を進めます。
- 地域ぐるみで子育てをし、子ども達が健やかに生まれ育つ環境づくりに努めます。また、 地域で高齢者や障害者・子育て中の方が溶け込んで暮らせるまちをめざします。
- ─ 高齢者、障害者等生活に支援の必要な方も含めた全ての人が、共に支えあいながら生活する安全なまちづくりに努めます。
- → ふれあいを持ちながら健康づくりを進める ことを支援します。
- ──一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の情報を把握し、必要な支援が届くように努めます。
- 転入された方や、子育てを始められる方に、保 健福祉センターの情報がすみやかに届くよう 努めます。





3)防犯・防災ネットワーク確立により、安全なまちをめざし、地域連帯の強化を図ります。



## 章 計画の具体的な推進のために

計画を具体的に推進するための取り組みや、中心になって推進する団体をあげています。地域における支援活動は、自立して生活を営み、自己選択をしていく個人や家族を支えるものであり、その自立と尊厳を大切にします。

また、地域で活動している母親クラブや子育てグループ、老人クラブや町内会、 自主活動グループ等が相互に支えあい、世代や枠組みを越えて連携を強化していく ことが大切と考えています。



# 子育て世代にとって住みやすいまち

・高齢者、子育て経験者等による『子育て相談機能』の整備を図ります。また、 育児をする方が育児に主体的にかかわれるよう支援します。

健康診査や育児相談・両親学級の充実を 図る。また、親子が交流のできる機会を つくり、情報の発信も行う。

(区)

子育てボランティアを育成し、活動の充 実を図る。

(区・民生委員児童委員協議会・自主グループ)

子育て事業を世代を超えて取り組む。民 生委員児童委員の子育て広場などの事 業の充実を図る。(民生委員児童委員協 議会・社会福祉協議会・町内会・区)

まちの中での世代交流の充実を図る。(町内会行事など)。

(町内会)

・地域で見守り・育てる、子育ての環境づくりをします。

地域ぐるみで子育てをし、子ども達が健 やかに生まれ育つ環境づくりに向けて の普及啓発を推進する。

(区・町内会・民生委員児童委員協議会・社会福祉協議会・関係機関)

子育でのネットワーク会議を、地域の子 育でに関する機関等で広く開催する。

(区・関係機関・関係団体・自主グループ等)

児童相談所や民生委員・児童委員・かか りつけ医・保育園・幼稚園・学校等との 情報交換を行う。

(区・関係機関・関係団体)

自主保育も含めた保育情報の提供をして いく。

(区・関係機関・自主グループ)

子育てグループの育成や、子育て広場の 充実を図る。

(区・社会福祉協議会・民生委員児童 委員協議会・関係機関)

新しく移り住んだ親子の世帯にも行事等を通して地域のつながりを作る。

(町内会・区)

小児医療に関する情報提供の充実を図る。

(区・医師会・歯科医師会・看護協会等)

ひとり親家庭が安心して子育てができる ように情報を提供していく。

(区・関係団体)

#### 計画の具体的な推進のために

・子育ての情報ネットワークを検討します。まずは区ホームページ等の検討をします。

子育て情報発信の会議を広く定期的に 開催する。

(区・関係機関・関係団体・自主グループ)

子育で情報の提供をしていく。子育でに関する情報交換、ホームページ、パンフレット、情報コーナーの設置等を検討する。 (区・関係機関・関係団体・自主グループ)

・子育てをしている親が生活習慣を工夫し、健やかに暮らせるよう支援をします。

\*6 がわさき健康づくり21の推進をする。生活習 慣病予防学習会の開催をする。

(区・医師会等関係団体)

## 高齢者・障害者が集い賑わうことのできる安全なまち

・高齢者、障害者等生活に支援の必要な方の対策の推進を図ります。

高齢者、障害者等生活に支援の必要な方も含めた全ての人が、共に支えあいながら生活で きる安全なまちづくりに向けての普及啓発を行う。

(区・町内会・社会福祉協議会・民生委員児童委員協議会・関係機関)

区役所保健福祉センターの相談窓口と して、保健福祉相談窓口の機能を充実 し、各支援担当との連携の強化を図る。

(区)

\*7 地域ケア会議や、介護支援専門員(ケア マネージャー)との連携の強化を図る。 (区・在宅介護支援センター・事業者)

健康教育や健康相談の充実を図る。

(区・関係団体)

\*9 地域福祉権利擁護事業との連携をする。 (区・在宅福祉公社・事業者) 日常の相談から必要な情報をまとめ、パンフレット等でPRを図る。

(区・関係団体)

障害に関する理解を深めるための講座や 相談等を開催する。

(区・関係団体)

高齢者の見守り事業の充実を図る。

(民生委員児童委員協議会・区・町内会・ 社会福祉協議会・老人クラブ)

心の健康づくりの講座を開催する。

(区)

・地域社会活動における高齢者パワーの活用を図ります。

高齢者の引きこもりの予防を図る。 (区・老人クラブ・町内会・自主グループ) \*10 ミニデイケアや友愛訪問の充実を図る。 (社会福祉協議会・老人クラブ・区)

まちづくり会議での取り組みの継続を行う。

(区・自主組織・関係機関・関係団体)

・母親クラブ、老人クラブ等の地域活動の横断的展開、社会貢献のあり方を検討します。

活動の拡大・強化を図る。地域横断的な活動を図る。加入の拡大を図る。 「特に、一人暮らしの高齢者]

(老人クラブ・母親クラブ・社会福祉協議会・町内会・区・自主グループ)

一人暮らしの高齢者や、引きこもりの方へ の働きかけをより強化する。

(民生委員児童委員協議会・老人クラブ・ 社会福祉協議会・区・自主グループ) 高齢者施設の活用と地域の共存の働きかけ の検討を図る。

(区・社会福祉法人・介護保険施設等)

・施設を活用した「たまり場」的な拠点(ブランチ)の確保をします。 また、市民活動団体の自主的活動による拠点の管理運営を進めます。

区内施設アンケートの結果を公表し活用を図る。 (区)

利用に関する会議の開催・周知を図る。 (町内会・社会福祉協議会・自主の会・区)

・高齢者、障害者が歩きやすい歩道、空間の整備を進めます。特に駅周辺の放置自転車 対策を推進します。

区の事業として取り組み、区民と協力して推進する。

(区)

活動に参加するための送迎ボランティア活動等の充実を図ります。

送迎ボランティアの育成・車両の拡大・PRを行う。また、利用対象・内容も検討を図る。

(町内会・社会福祉協議会・自主団体・区・自主グループ)

#### 計画の具体的な推進のために

・健康的な食生活が営めるよう、関係機関・団体が連携しながら取り組みます。

なって取り組む。 (区・関係団体・事業者)

# 地域に根ざしたネットワークのある人と、 高津に新しく住む人との交流・ふれあいのあるまち

- ・支えあい意識の高揚を図り、福祉のまちづくりを区民が中 心に推進することを支援します。
- の確保・交流の推進を進めます。
- ・高齢者、障害者、子どもたちのふれあい ・防犯・防災ネットワーク確立により、安全な まちをめざし地域連帯の強化を図ります。

交流・ふれあいのあるまちをめざして、町内会・社会福祉協議会・民生委員 児童委員協議会等や関係機関(消防・警察)・関係団体(保護司会・日赤奉 仕団等)また、区内活動のあらゆる場面で啓発活動に取り組む。

(地域のあらゆる関係機関・団体・自主グループ・区などが連携して取り組む)

新たに区民となった人の支援をする。区内の情報を提供する取り組みを考え る。また、町内会に関心を持って共に活動をできるように支援する。

(町内会・区)

地域の連帯が強化されるような、行事に取り組む。

(町内会・社会福祉協議会・民生委員児童委員協議会・関係機関・区)

防犯・防災のネットワークを組織的に取り組み、隣近所の交流を支援し、地 域の連帯感を持てるように働きかける。また、情報が伝わり難い外国籍の方 にも伝達方法等の工夫をする。

(区・町内会・社会福祉協議会・民生委員児童委員協議会・ボランティア・ 地域商店街・関係機関等)

#### 社会福祉協議会

子育て事業を世代を超えて取り組みます。 子育て情報の提供を推進します。 一人暮らし高齢者や、引きこもりの方への働き かけを強化します。 送迎ボランティア活動の強化を図ります。 老人クラプ、母親クラプ活動の強化を図ります。

#### 町内会·自治会

まちの中での世代交流の充実を図ります。 あらゆる活動の中で啓発活動に努めます。 地域連帯強化に向けて行事に取り組みます。 新たに区民となった方を支援します。 地域の防犯・防災ネットワークづくりに取組みます。

## 老人クラブ、母親クラブ

高齢者の見守り事業を充実します。 高齢者の引きこもりの予防対策を図ります。 ミニデイケアや友愛訪問活動を充実させます。 地域横断的な活動を推進します。 一人暮らし高齢者や、引きこもりの方への 働きかけを強化します。

# 生まれ、育ち、 健やかな高津

#### 高齢者·障害者施設等

施設活用と地域との共存の働きかけを検討します。 地域ケア会議や、介護支援専門員との連携強化を 図ります。

地域福祉権利擁護事業との連携を図ります。



#### 地域商店街

食の元気安心推進事業に協力します。 空き店舗などの施設利用に関し協力を求めて いきます。



# 地域福祉計画を推進するために

#### 自主活動組織・グループ

高齢者の引きこもりの予防を図ります。 子育てグループの育成、子育て広場を充実します。 子育てボランティアを育成し活動の充実を図ります。 障害に関する理解を深める講座や相談を開催します。 一人暮らし高齢者や、引きこもりの方への働きかけ を強化します。

# 老いる、

をめざして

#### 民生委員·児童委員協議会

子育て事業を世代を超えて取り組みます。

高齢者の見守り事業を充実します。

一人暮らし高齢者や、引きこもりの方への働きかけを強化します。

子どもの虐待の予防、早期発見のための情報交換を強化します。

#### 関係機関

子育てのネットワーク会議を開催します。 自主保育も含めた保育情報の提供を行います。 子育て情報の提供を行います。 地域連帯強化に向けて行事に取り組みます。

各団体(医師会・歯科医師会・看護協会等) 小児医療に関する情報提供を充実します。 かわさき健康づくり21の推進を図ります。 健康教育や健康相談の充実を図ります。



区役所、保健福祉センターの役割 重点的に取り組む主な項目についた

- ~区民、地域とともに、健康づくり、高齢者、障害者、子育て世代への支援体制の万全化に努めます
- \* 育児に困ったときに、早い時点で相談できる体制をつくります。
- \* 子育てネットワーク構築、情報発信等の子育てサポート事業を推進します。
- \* 要介護者の介護方法の学習や介護者の交流を図ります。
- \* 高齢者ミニデイなどの地域活動の活性化を支援します。
- \* 精神保健福祉の相談窓口で行なっている相談・事業内容のパンフレットを作成します。
- \* 障害者ニース゚の把握に努め、役立つ情報について提示していきます。
- \* 食の元気安心推進事業を推進します。
- \* 健康づくり推進協議会(仮称)を発足し、協議会を中心とした健康づくり活動を推進します。
- \* 地域福祉計画の推進をまちづくり会議でも支援します。
- \* 防犯防災ネットワークづくりを支援します。

## 資料編

#### 1 高津区の特徴

高津区 自然増減・社会増減(平成13年10月~14年9月中)

|       | 人口増減  | 自然増減  | 出生    | 死亡  | 社会増減  | 転入     | 転出     |
|-------|-------|-------|-------|-----|-------|--------|--------|
| 総数    | 3,686 | 1,337 | 2,278 | 941 | 2,349 | 18,372 | 16,023 |
| 0 - 4 | 2,147 | 2,271 | 2,278 | 7   | 124   | 1,107  | 1,231  |
| 5 - 9 | 60    | 1     | -     | 1   | 59    | 442    | 501    |
| 10-14 | 39    | -     | -     | -   | 39    | 289    | 250    |
| 15-19 | 542   | 1     | -     | 1   | 543   | 1,141  | 598    |
| 20-24 | 1,056 | 5     | -     | 5   | 1,061 | 3,588  | 2,527  |
| 25-29 | 948   | 5     | -     | 5   | 953   | 4,623  | 3,670  |
| 30-34 | 85    | 12    | -     | 12  | 73    | 2,917  | 2,990  |
| 35-39 | 79    | 7     | -     | 7   | 72    | 1,367  | 1,439  |
| 40-44 | 47    | 16    | -     | 16  | 63    | 710    | 647    |
| 45-49 | 59    | 21    | -     | 21  | 80    | 546    | 466    |
| 50-54 | 29    | 42    | -     | 42  | 13    | 563    | 550    |
| 55-59 | 75    | 62    | -     | 62  | 13    | 366    | 379    |
| 60-64 | 118   | 70    | -     | 70  | 48    | 239    | 287    |
| 65-69 | 114   | 118   | -     | 118 | 4     | 164    | 160    |
| 70-74 | 128   | 123   | -     | 123 | 5     | 122    | 127    |
| 75-79 | 120   | 121   | -     | 121 | 1     | 68     | 67     |
| 80-84 | 128   | 112   | -     | 112 | 16    | 63     | 79     |
| 85-89 | 134   | 136   | -     | 136 | 2     | 38     | 36     |
| 90-94 | 58    | 59    | -     | 59  | 1     | 16     | 15     |
| 95-99 | 21    | 21    | -     | 21  | -     | 3      | 3      |
| 100 歳 | 3     | 2     | -     | 2   | 1     | -      | 1      |
| 以上    |       |       |       |     |       |        |        |

#### POINT

- (1)0-4歳は転出が多く、出生が多い割には、子どもが大きくなると転出する傾向がある。
- (2)20歳代の転入者が多い。
- (3)65歳以上の移動は少なく、高津区に住んでいる高齢者は定住者が多い。
- (4)母親の出産年齢割合で最も多い30-34歳が転出している。

#### 区別人口動態(平成14年中)

|      | 全市     | 川崎区   | 幸区    | 中原区   | 高津区   | 宮前区   | 多摩区   | 麻生区   |
|------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 人口増減 | 13,942 | 2,263 | 1,625 | 2,039 | 3,509 | 1,115 | 1,887 | 1,504 |
| 自然増減 | 6,675  | 258   | 389   | 1,208 | 1,368 | 1,621 | 1,203 | 628   |
| 社会増減 | 7,267  | 2,005 | 1,236 | 831   | 2,141 | 506   | 684   | 876   |

#### POINT

- (1)増加数が最も多いのは、平成12年から3年連続で高津区である。
- (2)出生数が高い高津区、宮前区の自然増減が高い。
- (3)高津区は社会増減が多く、理由としては転入者が多い(宮前区と比較して約 1,000多い)。

#### 住所地移動

|   |      | J1 W  | 奇市   |       | 高泽   | 津区    |      |     |
|---|------|-------|------|-------|------|-------|------|-----|
|   | 転入   |       | 転出   |       | 転入   |       | 転出   | 1   |
| 1 | 世田谷区 | 4,611 | 世田谷区 | 3,855 | 世田谷区 | 1,481 | 世田谷区 | 845 |
| 2 | 大田区  | 3,372 | 青葉区  | 2,910 | 青葉区  | 470   | 青葉区  | 475 |
| 3 | 鶴見区  | 2,258 | 鶴見区  | 2,585 | 大田区  | 439   | 港北区  | 405 |

#### POINT

(1)隣接する区域からの転出入が多い。

#### 0歳児~4歳児の推移

|         | 0 歳   | 1歳    | 2 歳   | 3 歳   | 4 歳   |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| H14 • 9 | 2,193 | 2,087 | 2,104 | 2,039 | 1,928 |
| H13 • 9 | 2,066 | 2,094 | 2,068 | 1,958 | 1,840 |
| H12 • 9 | 2,081 | 2,076 | 1,981 | 1,893 | 1,870 |
| H11 • 9 | 2,053 | 1,995 | 1,954 | 1,903 | 1,829 |
| H10 • 9 | 2,011 | 1,990 | 1,939 | 1,910 | 1,769 |
| H9 • 9  | 1,996 | 2,015 | 1,976 | 1,789 | 1,625 |
| H8 • 9  | 2,010 | 2,027 | 1,852 | 1,680 | 1,707 |

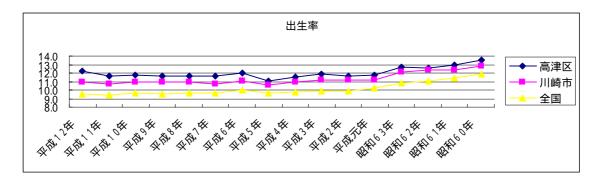
#### POINT

- (1)3、4歳になると減少傾向。0、1歳は2000前後で推移。
- (2) 高津区の全人口は年々増えている。だが、幼児に限ってみると減少傾向。
- (3)転出入が多い。

#### 出生率の推移

#### POINT

- (1)現在高津区は出生率が高くなってきている。宮前区に次ぐ。
- (2)全国と比較して、川崎市は全体的に高率である。



## 出生順位別出生数(平成13年)

|    | 第1子         | 第2子         | 第3子         | 第4子       | 5 以上     |
|----|-------------|-------------|-------------|-----------|----------|
| 全市 | 7,472(54.4) | 4,819(35.1) | 1,194 (8.7) | 186 (1.4) | 50 (0.4) |
| 高津 | 1,194(54.9) | 771 (35.4)  | 171 (7.9)   | 32 (1.5)  | 8(0.4)   |

## 母親年齡別出生数(平成13年)

|    | ~ 19  | 20-24 | 25-29  | 30-34  | 35-39  | 40-44 | 45-49 |
|----|-------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|
| 全市 | 177   | 1,210 | 4,624  | 5,666  | 1,827  | 212   | 5     |
|    | (1.3) | (8.8) | (33.7) | (41.3) | (13.3) | (1.5) | (0.1) |
| 高津 | 24    | 171   | 748    | 924    | 284    | 25    | 0     |
|    | (1.1) | (7.9) | (34.3) | (42.5) | (13.1) | (1.1) | (0.0) |

#### 平均年齡

|      | 平成 14 年                    | 平成 13 年              |  |  |
|------|----------------------------|----------------------|--|--|
| 宮前区  | 37.7歳(男37.0歳、女38.5歳)       | 37.3歳(男36.6歳、女38.0歳) |  |  |
| 多摩区  | 37.7歳(男36.7歳、女38.9歳)       | 37.4歳(男36.4歳、女38.5歳) |  |  |
| 高津区  | 38.0歳(男37.3歳、女38.8歳)       | 37.8歳(男37.1歳、女38.7歳) |  |  |
| 中原区  | 38.6歳(男37.8歳、女39.5歳)       | 38.4歳(男37.6歳、女39.4歳) |  |  |
| 麻生区  | 40.0歳(男39.1歳、女40.9歳)       | 39.6歳(男38.7歳、女40.5歳) |  |  |
| 幸区   | 41.6歳(男40.6歳、女42.7歳)       | 41.5歳(男40.4歳、女42.5歳) |  |  |
| 川崎区  | 42.2歳(男41.5歳、女43.1歳)       | 42.0歳(男41.3歳、女42.9歳) |  |  |
| (全市) | 39.3 歳 (男 38.5 歳、女 40.2 歳) | 39.0歳(男38.2歳、女39.9歳) |  |  |

#### POINT

- (1)平均年齢は毎年緩やかに上昇している
- (2)川崎市を南北に分けて比較すると、北部は新しく移り住んできた若い世帯が、 南部は昔からの定住者が多い。

平成12年度以降マンション建築状況(20戸以上)

|      |     |         |         | ·— ,    |        |         |
|------|-----|---------|---------|---------|--------|---------|
| 町名   | 建設数 | 分譲個数    | 総個数     | 総計画人口   | 7階建て以上 | 6 階建て以下 |
| 高津合計 | 6 8 | 2763    | 4209    | 10677   | 3 8    | 3 0     |
| 橘合計  | 2 4 | 838     | 1 2 2 5 | 3 3 1 8 | 4      | 2 0     |
| 区合計  | 9 2 | 3 6 0 1 | 5 4 3 4 | 13995   | 4 2    | 5 0     |

#### 2. 社会資源の状況

高津区内に所在する施設66箇所に実施したアンケート調査結果より、現在の施設の開放状況 と今後の施設活用の方向に関する情報を整理しました。

アンケート調査で施設情報が得られた施設は・・4分野合計66の施設です。

#### 市民施設

福祉パルたかつ、地域福祉施設ちどり会議室、川崎市民プラザ、すくらむ21、大山街道ふるさと館、高津スポーツセンター、プラザ橘、高津市民館、悠友館、糀ホール以上11施設

#### 高齢者施設

老人いこいの家(6ヶ所) 養護老人ホーム恵楽園、 介護老人保健施設「ゆい」 「たかつ」「樹の丘」、 特別養護老人ホーム「陽だ まりの園」「和楽館」「すえ なが」

以上13施設

#### 子育て関連施設

子育て支援センター(2ヶ所)保育園(15ヶ所)幼稚園(9ヶ所)子ども文化センター(7ヶ所)子育で広場かじがや、たかつ子どもミニディサービスドーナツ、子ども夢パーク

以上36施設

#### 障害者施設

わーくす高津、 社会復帰訓練所、 かじがやディサービスセ ンター、 くさぶえの家、 わかたけ作業所、 あかしあ園、 以上 6 施設

#### 結果 1

現在の施設の開放状況は・・

66 施設のうち、個人利用向けに開放しているのは 42 施設です。またそのうちの 6 施設は 有料での開放となっています。

66 施設のうち、グループ利用向けに開放しているのは39 施設です。またそのうちの9施設は有料での開放となっています。

|         | 個人にのみ開放 | グループにのみ | 個人・グループ | 全く開放  |        |
|---------|---------|---------|---------|-------|--------|
|         | している    | 開放している  | どちらにも開放 | していない | うち、今後は |
|         |         |         |         |       | 開放を検討  |
| 市民施設    | 1       | 3       | 7       | 0     | 0      |
| 高齢者施設   | 0       | 2       | 7       | 4     | 4      |
| 子育て関連施設 | 1 1     | 2       | 1 5     | 8     | 2      |
| 障害者施設   | 1       | 1       | 1       | 3     | 0      |

#### 結果 2

今後の施設開放の方向は・・

区内 6 つの老人いこいの家は、現在の昼間開放に加え、平成 1 7 年度からの夜間開放への取り組みについても検討が進められています。

介護老人施設は、地域行事との連携強化、地域住民との交流を深めるために、積極的に施 設開放に取り組んでいます。

区内の殆どの保育園では、「地域の遊びの広場」として、施設開放が進んでいます。

各施設の細かな状況は、区役所・保健福祉センター3階保健福祉相談窓口でお問い合わせ下さい。

#### 3. 市民活動の状況

地域福祉に関するさまざまな分野で活動している団体、グループの方々の、現在の活動に 至ったきっかけや思い、そして今後の活動の展望について紹介します。

#### 高齢者福祉活動分野

高齢者の健康長寿が老人クラブ活動のテーマ。健康と生きがい対策が大きな課題で、人を支援するためにもまず自分自身が健康であること。健康のためには運動と栄養をとること、生きがい対策としては旅行や社会奉仕を積極的に行い、クラブ活動の多様化と活動強化を進めていきます。

これからは、高齢者のパワーを結集して、社会の担い手となるために、前向きに活動する意識を大切にしたい。向こう三軒両隣の近所の引きこもり老人を散歩に連れ出す活動を新事業として取り組んでいきます。 (高津区老人クラブ連合会会長 田島耕作氏)

#### 障害者福祉活動分野

脳血管障害の後遺症で障害を持った人が、人生前向きに生きられるよう、寝たきり防止と社会参加を目標に活動しています。仲間と長く一緒に活動することで、病理学的な治療はできないにしても、精神的なケアはできます。これからも、「介護保険は掛け捨てに」を方針にかかげ、仲間同士で頑張る意識を持てるような仕組みをつくっていきます。

地域の中では障害者を受け入れる意識はまだまだ不足しています。いまの一番の課題である送迎問題など、もっと問題を表に出し、活動をさらに広げていきたいと思います。

(高津むつみ会・かわさき七和会会長 大島定男氏)

#### 高齢者福祉活動分野

市社協の勧めで川崎市ではじめてのモデル事業として、平成5年に活動を開始。在宅介護支援センターからの指導やスタッフ全員での研修、車椅子体験学習など、色々な勉強の積み上げで、現在では定員を超える方々が集まり賑やかにミニデイ活動を行っています。

これまでの活動を通じて分かったことは、地域には身体の不自由な方々がたくさん閉じこもっているということ。これからはもっと小地域でミニデイ活動ができればと願います。私たちも、これまでの経験を活かし、多彩に高齢者支援活動を広げていきたいと思っています。

(上作延ミニデイケアサービスゆうあい運営委員長 金子知子氏)

#### 子育て支援活動分野

子どもが生まれ、子育でが不安な時期に川崎に移り住み、周りに話し相手も相談相手もいなくて、赤ちゃん広場や保健所などで必死に友だち探しをしました。徐々に友だちができ、子育てクループで活動するうちに、公園とスーパーと家の三角地帯の中でだけ生活する現実に、物足りなさや不安を感じ、もっと社会と繋がりたい、自分たちの世界を持っていたいという思いから、子育でホームページの作成を始めました。子ども同士がうちの外で遊ぶのを近所の人が見守れる、そんな場所がたくさんあるまちであってほしいし、子どもの遊びを大人が保障し、「もっと外に出てもいいんだよ」と呼びかける地域づくりが必要だと思います。

(子育て支えあいネットワーク「満」代表 河村麻莉子氏)

まちづくり活動分野

保育園、自主学童保育、PTA活動等を通じ、町内会・地域・行政との関わりをつくり、溝の口緑地を残す活動、区民懇話会、区の音楽文化活動の振興に携わることで、地域とのコミュニケーションを育んできました。昔のように子どもが安全に遊べる原っぱ、空き地をどれだけ再生していけるか、遊び場や異年齢が集う場づくりが児童福祉の一番の課題です。また、地域福祉は地域コミュニティづくりだと思います。コミュニテイネットワーカーや専門家の知恵、斬新に人が活躍できる場が不可欠。これからは元気高齢者の活躍の場を広げ、さまざまな活動をネットワーク化し、そしてワークステーションの設置などにより地域福祉を推進していくことが大切です。

(高津区まちづくりビジョン委員会 田村富彦氏)

健康づくり活動分野

いまは食事の手伝いや母親が台所に立つ姿を見る機会が少なくなり、また対面販売の減少で買物時のコミュニケーションが図れなくなったことなどの原因で、若い世代に食に関する情報が伝承されにくくなっています。日常的な外食・出来合い弁当・惣菜の普及で糖尿病をはじめとする生活習慣病の増加も懸念されます。

自分の健康を守るためにどのように力をつけるか及び地域社会で相互に情報を提供していくか工夫することが大切と考えます。また飲食店等への協力を呼びかけ、共に区民の食の安心を推進していきます。

(たかつ・食の元気安心推進協議会 田邊弘子氏)

#### 4.対象別の状況と課題

#### 子育て

#### 高津区の個人の健康状況や問題

小児救急の要望が高い。

乳児死亡率、新生児死亡率、死産率は低い。

かわさき健康ニューファミリー事業のアンケートによると、子育てが楽しいと感じている人は 75%、いいえ 1%、どちらともいえない 25%である。

子育てを楽しめない理由として、育児に自信がない、経済 的問題、パートナーの協力が得られないことなどが挙げら れている。

子育て中の母は、自分の時間が持てないことや、育児がうまくいかないことにストレスを感じることがある。

母子世帯にとって比較的住みやすい環境である(安価な住居がある、自然環境に恵まれている、仕事が探しやすいなど)。

市内で保育園待機者が最も多い(マンション建設による転入者の増加、不景気による共稼ぎ希望の増加)。

#### 家族・集団の状況

転出入が多く、居住年数が短い若い世帯が多い。

子育て世代の人が地域でよく利用する場所は、公園、保育 園施設、図書館などである。

子どもを持つことをきっかけに隣近所や育児仲間などのつきあいが広がる。

乳幼児健診(保健福祉センター実施分)の受診率は高い。

3 か月(97.6%) 1歳6か月(87.9%) 3歳(88.4%) 初妊婦の57.1%が、保健福祉センターの両親学級を受講し、 夫の参加数は増えている。

母子世帯からの相談では、育児を手伝ってくれる身内や保証人などの協力者が得にくいという声が多い。

核家族化により保育を家族以外に求める。

就労以外に養育不安や出産時などの保育を求めている。

#### 地域の数的特性

出生数などは別紙資料参照

児童扶養手当受給者数 1,074 人(15 年 6 月末) 1,027 人(14 年 6 月末) 948 人(13 年 6 月末)

保育所入所者 15年4月:1,547人、待機者数:476人





地域の中で楽しく子育でするには、高津区役所は何ができるか? (課題)

育児に困ったときに、早い時点で相談できるための体制づくり 母子健康手帳交付時面接、両親学級、新生児訪問等を見直し、 実施していきます。

#### 子育てサポート事業の推進をします。

子育て情報発信委員会のホームページや冊子等による情報 発信のための活動を支援します。区民、子育て関連施設、行 政間の連携とネットワーク構築を働きかけます。

#### 母子世帯向けリーフレットを作成します。

母子世帯になったとき、利用できる制度、相談 窓口の広報につとめます。 気軽に行ける活動拠点があると 動きやすい 若年の母子世帯は、育児の面でも経済的にも不安定な部分が多く援助が必要

年々母子世帯が増加している。アパート契約、就職、子の預け先など母子世帯には困難が多い

日中親子が向かい合ってぎくしている。かけこみ寺が必要

縦割りの施策で情報が流れない。情報のネットワーク化が必要

子育てを身近に見る 機会の少なかった親 が多くなっており、応 用がききづらい傾向

働きたいが、地域保育 園は料金が高くて預 けにくく、公立は空き がない状況。手助けし てくれる祖父母もい ない(または祖父母も 働いている)

近隣づきあい (特に上の世 代)が少ない 傾向がある パソコン、携帯電話 なでの多様なコミ ュニケーション手 段をもつ

市民事業として、 子育て支援の事業 を開始している 子育て情報を伝え る手段が少ない。情 報が行き届かない 子どもを預ける 場所がほしいが、 行政からも支援 をしてほしい

母子は集う場を 求めている

情報に敏感でイベント に参加する意欲は高い 両親学級な親の参加が増加

#### 地域の全体の状況

子育て関連施設として、保育園 16、地域保育園(届出対象園)14、幼稚園 11、地域子育て支援センター2、こども文化センター7の他に幼児教育センター、児童相談所、母子生活支援施設、こども夢パークなどがある。

子育てボランティアが子育てサロンの開催や絵本の読み 聞かせなどで活動している。

育児サークル、母親クラブ、自主保育グループなどで親子が自主的に活動している。

公園や施設が遠く、利用しにくい地域がある。

母子世帯がお互いに助け合い、自立するための様々な活動をする母子寡婦福祉会がある。

親子が出かける場として保育園の園庭開放や地域子育て 支援センター、子育て広場などが増えている。

#### 地域の問題や力量・システム

施設は多くあるが、情報発信を含めて区レベルのネットワークが不十分である。

区民が事業を起こして子育て支援をしていくときに、財政的に厳しい。

子どもが集まる場所として借りられる場所が少なく、いろいろな世代が利用できる公民館的な場の提供が欲しい。 子ども文化センターの運営委員会が立ち上がりにくい。 気軽に子ども連れで歩いて行ける活動拠点としては、まだ

場が不足している。 子育ての集まりでは、1回に70~80組の利用がある。

天育での集まりでは、「回に70~60 組の利用がある。 民間の施設でお話会、読書会、勉強会、自由時間、教育相 談と

多彩な活動が行われている。

#### 高齢者

#### 高津区の個人の健康状況や問題

65 歳以上の全死亡に対する死亡割合 男 62.3%、女 79.7%。

一人暮らし・高齢者世帯調査によると、日常生活がほぼ 自分で行っている人は、86%

65 歳以上の3大死因、1位 悪性新生物、2位 心疾患、 3位 脳血管疾患

介護保険認定者数 15 年 4 月 3,032 人、14 年 4 月 2,139 人。 増加率 41.7%。

要支援(365) 要介護1(967) 要介護2(530) 要介護3(366) 要介護4(403) 要介護5(401) 要介護1が32%である。

#### 家族・集団の状況

ミニディや地域のふれあい活動に参加している二世代 同居の高齢者は、生活に満足しているようである。

高津区内の4つのミニディや保健所痴呆性老人介護教室に参加している家族は、在宅での介護の工夫など情報交換や支えあいをしている。

痴呆性老人介護教室に参加している家族は、相互の交流、支えあいのため、「家族の会」を立ち上げた。

#### 地域の全体の状況

ミニディやふれあい活動を実施している地域のボランティアは、地域の力で虚弱や軽度痴呆の高齢者の閉じこもり予防や介護予防に働きかけている。このことが見守り活動になっている。

地域すこやか活動を推進するグループが7個ある。

老人会は 70 か所、そのうち 7 か所が保健師と連携して健康 づくり、介護予防の学習会を企画している。

高齢者支援の活動をボランティアがかなり担っている。

ヘルスボランティア講座やグットネイバース研修等、行政 や社協でボランティアを育成している。

在宅介護支援センターが介護予防を取り組んでいる。

地域のミニディ活動は社協、在宅介護支援センター、保健福祉センター等が協力している。



高齢者の住宅なのにエレベーターや手すりがなかったり段差が大きく不便である

バスを使わない

と外出できない

ので、ひきこもり

がちになる人も

地域の活動に 参加したり、 利用して交と でいる方が い 高齢であっても、役割 をもって、地域で生活 したい

古くからある市営住 宅は、一人暮らしや高 齢者世帯が多い

町内会には入って いるが、年齢が高 くなると参加が困 難になる

いる

送迎ボランティアを町内とで行った者が動ける体制づくりも大切である

自分なりに生活を 送ることができる 方が多い

地域ごとにミニディなど活動しているが、不足である。 高齢社会で今後ますます需要が増え

地域や家庭に近 い小さな施設で 家庭的な生活の 支援が求められ る

できるだけ介護保 険を利用しないで 生活したいと思っ ている 一人暮らしや高齢者 世帯であっても、近隣 や家族と何らかのつ ながりを持っている 人が多い

#### 地域の問題や力量・システム

高齢者が増えていく中で地域がどのように、私達がどんなまちづくりをしていく必要があるか、どんな環境を作っていくか、大きなテーマである。

老人いこいの家の活用を今後は夜間利用も含めて考えていきたい(子育て支援の場としても世代間交流も含めて活用を)。

#### 地域の数的特性

人口 191,618 人、65 歳以上 22,618 人

高齢化率 11.8%、一人暮らし 3,938 人

高齢者のみ世帯 6,677 人、家族と共に生活している 11,874 人介護保険要支援以上の高齢者 2,894 人(12.8%)

老人クラブ 70

私のまちのすこやか活動推進7か所

長寿支援ホーム8か所(うち2か所委託)

在宅介護支援センター5 か所

地域の中で高齢期をうまく生き、ひとりひとりのライフスタイルの確立をするには、高津区役所は何ができるか? (課題)



<u>高齢者自身の望む生活が送れるように、その為の転倒予防、介護予防に取り組みます。</u>

転倒予防教室、介護予防教室を開催します。



要介護者の介護方法の学習や介護者の交流を図ります。

介護者のリフレッシュ・支えあい・制度などの情報提供等、自由に話せる場「(仮)在宅介護者教室」を設けて、介護疲労による虐待の予防を図ります。



高齢者ミニディなどの地域活動の活性化を支援します。

現在、地域の交流の場であり世代交流の場として開催されているミニディや、 新たなミニディ・サロン等の立ち上げを支援します。

#### 障害者

#### 高津区の個人の健康状況や問題

障害がある人の健康問題が表面化してきている。 本人、家族の高齢化。

#### 家族・集団の状況

家族会は学習会や情報交換を行い、互いに支えあっている。

家族として要望を伝え、施策に反映してほし いと望んでいる。

障害者の社会参加のための機会や集団が望まれている。

#### 地域の全体の状況

たかつ精神保健福祉連絡会は、高津区の精神保健 福祉関係機関・団体が様々な事業を通して連携を 持っている。

アルコールケアセミナー実行委員会は、アルコール関係のネットワークづくりと年1回の講演会を 企画し、普及啓発を行っている。

地域作業所は、定員がいっぱいだったり、利用したいときに利用できないことがある。

他区と比較して、精神科医療機関が多いが、どこ も患者数が多く、予約制であることが多いため、 すぐにかかれる病院が少ない。

緊急時利用できる(ショートステイなど)場が少 かい

学齢期における療育グループや放課後活動への支援の必要がある。

核となる施設(生活全般を見渡せる)が少ない。

高齢で障害があり、 一人暮らしの方が倒 れても周囲が分から ない時がある。

何かのときに分か るしくみがほしい

地域作業所は、定員いっ

ぱいなことが多く、利用 できないことがある

生活全般(子育て、教育、 社会参加、制度)に渡る情

報の伝達のシステムが必要

と感じている

高齢化、重度化に対応できる施設の充実 (医療のケア含む)

障害を持つ方や家族 に社会資源・制度の情 報が等しく伝わって いない

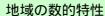
保健所が精神保健の相 談窓口であることが広 く知られていない

> 障害程度に対応し た通所施設

通所施設、入所施 設の充実

心の病・精神障害に関する正確な情報が伝わっていない

選べるサービス の充実



精神保健福祉手帳所持者数398人(市内4番目)。

通院医療費公費負担制度利用者数 1396 人 (市内 2番目)。

診断別相談件数 統合失調症 そううつ病 アルコール依存症

知的障害者・児804人(市内1番目)。

身体障害者・児3,613人(市内4番目)。

養護学校2校

(高津区の社会資源)

短期入所なし、デイサービス6か所、グループホーム9か所、更生入所施設なし、更生通所施設2か所、授産入所施設なし、授産通所施設1か所、生活支援センター11か所

支援費サービスの開始

地域の中で障害者がいきいきと生活するために、高津区役所は何ができるか? (課題)



市政だよりの区版に、精神保健福祉相談窓口について広報します。

困ったときの相談窓口があることを知ってもらう活動をしていきます。



アルコール等に関する講座・心の健康づくり講座・精神保健福祉講座等の

目的や内容を検討し、他機関と連携をとりながら行っていきます。

心の病や精神障害は誰にでも起こりうる身近な問題として正しい知識を伝えていきます。



精神保健福祉の相談窓口で行っている相談・事業内容のリーフレットを作成します。



関係機関との連携をより強化し、障害者の自己実現をサポートします。



障害者のニーズの把握につとめ、役立つ情報について提示していきます。



#### 高津区の個人の健康状況や問題

女性は心筋梗塞による死亡割合が市で一番高い。 公害認定を受けている人は72人で高齢化傾向にある。 結核登録患者は20・30歳代及び高齢者に多い。 育児中の母親はやせ傾向にある

育児中の母親は妊娠中は禁煙しているが、子供の成長 と共に喫煙する割合が高くなる。

家族・集団の状況

運動中心の健康づくりグループは他区に比べて多い。 元気、虚弱高齢者は健康維持のため運動のできる場を求めている。

運動のできる施設が少ない。

健康的で住みやすいまちとは、「心のふれあいと人との関係」と区民は考えている人が多い。

飲食店で健康に配慮した環境を希望する人が多い。

運動推進委員は健康づくリグループで活動し、高齢者の 参加が多い。

若い世代の人は健康情報をマスメディアを通して得ている人が多い。健康情報を得る場も求めている。

障害者は生活習慣病予防のための学習を希望している。 育児中の母親は自分の健康に対し関心を持ち、運動した いと考えているが、なかなか実行できない。

地域の問題や力量・システム

健康づくりを推進するためには、学校保健、PTA、事業 所、医師会、歯科医師会、薬剤師会との連携をとっている が、まだ不十分。

運動推進員は運動を中心としたボランティアとして活動 (子育て中の母親、高齢者、障害者に対して)し、運動の 場を作っている。

食生活改善推進員は、食生活を中心としたボランティアと して活動 (妊婦、高齢者、障害者、子育て中の母親に対し て)し、健康的な食生活を進めている。

市民健康づくり運動高津地区会議の委員は健康づくり事業に対して行政と共に協議している。

介護保険外でサービスを受けたい人の情報が得にくい (特定疾患、生活習慣病の 人で介護サービスを受けた い人)

広報紙の情報で保健事業 に参加する人が多い

保健事業に参加す る人はリピーター が多い



ボランティア活動への意欲は高いが、健康管理は十分できていない場合もある

基本健診が医療機関委 託になったことで健診 事業の形が変わった。 若い世代への生活習慣 病予防教育の必要があ る 子供から高齢者、障害者が生活習慣病を予防し、元気でいきいきと暮らすために、地域の人たちのふれあいとヘルスボランティアの活動の拡がりが少ない





#### 地域の数的特性

平均世帯人員が減少し、核家族化が進行。 人口密度が増加し、高層化している。 市営住宅には高齢者が多い。

利便性がよい。

豊かな自然と緑と歴史的文化的遺産がある。 運動中心の健康づくりグループが27ある。 0歳児人口は多いが、3、4歳になると少ない。





高津区民の健康づくりのために高津区役所は何ができるか? (課題)



運動普及推進員・食生活改善推進員の活動を支援します。

学習を行うことによってヘルスボランティアとしての力量を高め、地域住民へ、それぞれの世代に応じた健康づくりを推進・波及させ、地域の健康度を上げていきます。



食の元気安心推進事業を推進します。

「たかつ健康づくり協力店」の拡大、「かわさき健康づくり21」の推進、関係機関・団体が健康づくりに取り組めるよう働きかけます。多くの住民が健康づくりに関心を持ち実践し、その結果地域の健康度を上げていきます。



(仮)健康づくり推進協議会を発足し、協議会を中心とした健康づくり活動を推進します。

健康づくりに関わるグループや団体が、健康に関して協働できるしくみをつくっていきます。

#### 5.(参考)用語説明

#### \* 1 社会福祉協議会

社会福祉法で規定された社会福祉法人であり、指定都市にあってはその区域内における社会福祉 を目的とする事業を経営する者、社会福祉に関する活動を行なう者、社会福祉事業または更生保護事業を経営する者等の参加を得て、地域福祉の推進を図ることを目的とした民間の自主的団体。

#### \* 2 民生委員・児童委員

民生委員法において、社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場に立って相談に応じ、及び必要な援助を行い、もって社会福祉の増進に努めるものとすると位置づけられている。

#### \* 3 地域福祉

住民が、身近な地域で自立した生活が営めるよう、多様な主体が協働して、必要なサービスの整備及び総合化を図り、住民の活動の組織化を通じ、地域社会の形成を目指す福祉活動の総体を指す。

#### \* 4 福祉のコミュニティ

地域住民の支え合い・共助と、制度化されたサービスが、それぞれの特性を生かし合い、サービスを必要とする人の生活を支えるような地域社会で、地域住民が自主的に、互いに連携してボランティアやNPO活動などの市民参加を行う地域社会。

#### \*5 NPO=Non-Profit Organization

営利を目的としない組織。「民間非営利団体」、「民間公益組織」等。 非営利であること、 非政府であること、 正式に組織化されていること、 自主的、自発的な活動を行うこと、 などが意味されている。

#### \*6 かわさき健康づくり21

市民の皆さんがより長く健康で活き活き生活できるように、10の領域(栄養・食生活、身体活動・運動、休養・こころの健康づくり、たばこ、アルコール、糖尿病、歯と口の健康、がん、循環器疾患、健康都市かわさきの実現)について10年後までに到達すべき目標値を掲げた計画。平成13年3月に策定。

#### \*7 地域ケア会議

介護予防・生活支援の観点から、在宅の要援護高齢者、もしくは要援護となるおそれのある高齢 者や家族に対し、相談及び各種のサービスを実施している機関が連携を図り、かつ適切にサービス につなげることができるよう、地域の要援護高齢者等の福祉の向上を図ることを目的としている。

#### \*8 介護支援専門員(ケアマネージャー)

介護保険法に基づき、要介護者等(利用者)の依頼を受けて、その心身の状況や環境、希望等生活 全般を総合的に把握し、利用者の立場にたって最も適切な居宅サービスや施設サービスを組み合わ せたケアプランを市町村、事業者および施設等との連絡調整し作成する専門家。

#### \* 9 権利擁護事業

社会福祉の利用者が、「自己決定」の原則が浸透してくると重要視されるようになったのが、自己決定の力が弱いと言われている人々の「権利擁護」である。家族・親族が適切な対応を行えない場合や荷が重すぎる場合もあり、第三者や社会福祉協議会等の機関を含めた代理人が本人の権利を守っていくことができる方策の一つとして、法的な分野では地域福祉権利擁護事業という形で対応が整備されている。

#### \*10 ミニディケア

高津区社会福祉協議会を事務局として、地域の民生委員・ボランティア等が中心となり、地域で 生活するひとり暮らしや虚弱等の高齢の方々を対象に老人いこいの家等でレクリェーションや会食 を通じて交流を図っているふれあい活動。

#### \*11 友愛訪問

対象者や家族の要望を把握のうえ、話相手を基本に活動し、おおむね週1回を目標に、また、必要に応じて家事援助を行う等の活動をしている。

#### \*12 食の元気安心推進事業

誰もが安心した食生活を送るため、安全で健康に配慮した食生活・栄養等に関する情報提供や環境づくりを推進する事業。地域の健康資源開発(飲食店等の「たかつ健康づくり協力店」登録も実施)及び健康づくりのネットワークを広げるための啓発及び活動支援。

#### \*13 たかつ・食の元気安心推進協議会

健康に関する団体の代表及び区民公募委員により構成され、高津区における食と健康づくりに関する課題を考え、方策を検討し事業を実施することにより、区民が自ら健康づくりができるまちづくりを目指す協議会。食の元気安心推進事業の実施主体である。

## 6. 高津地域福祉計画策定委員会開催経過及び策定委員名簿

## 高津地域福祉計画策定委員会開催経過

|      | 策定委員会                                  | 所内プロジェクト                                         | 作業部会                                                                                    |
|------|----------------------------------------|--------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 5月   |                                        |                                                  |                                                                                         |
| 6月   |                                        | プロジェクト準備会議                                       |                                                                                         |
| 7月   | 公募委員決定                                 |                                                  |                                                                                         |
| 8月   | <u>(21日)</u><br>区長・会長対談                | (8日)第1回目<br>経過報告と確認、<br>策定委員会に向けて                | (8日)第1回目<br>経過報告と確認、策定委員会に向けて<br>(15日)第2回目<br>資料の収集、現状をフリートーク<br>(28日)第3回目<br>策定委員会資料作成 |
| 9月   | <u>(19日)第1回目</u><br>区の特性について現<br>状理解   | (16日)第2回目<br>インタビュー候補、<br>策定委員会に向けて              | <u>(4日)第4回目</u><br>策定委員会資料作成<br><u>(11日)第5回目</u><br>シートに沿って現状確認                         |
| 10 月 | <u>(27日)第2回目</u><br>課題整理               | <u>(16日)第3回目</u><br>策定委員会に向けて                    | <u>(2日)第6回目</u> ねらいの確認<br><u>(14日)第7回目</u> ねらいの確認                                       |
| 11 月 |                                        | <u>(26日)第4回目</u><br>策定委員会に向けて                    | <u>(14日)第8回目</u> ねらいの確認<br><u>(25日)第9回目</u><br>ねらいの確認、資料整理                              |
| 12月  | <u>(5日)第3回目</u><br>課題と対応、今後の方<br>向、あり方 |                                                  | <u>(25 日)第 10 回目</u><br>プランシート、次年度取り組むこと                                                |
| 1月   |                                        |                                                  |                                                                                         |
| 2月   | <u>(25日)第4回目</u><br>計画案の整理             | <u>(2日)第5回目</u><br>計画案の整理<br><u>(下旬)</u><br>区長報告 | <u>(2日)第11回目</u><br>計画案の整理                                                              |

#### 高津地域福祉計画策定委員会 委員名簿

|    | 23(田江正日 |    | 上安貝太 安貝丁冯             |               |
|----|---------|----|-----------------------|---------------|
| NO | 氏       | 名  | 所属・職名                 | 備考            |
| 1  | 斉藤      | 二郎 | 高津区民生委員児童委員協議会会長      | 委員長 保健・医療・福祉  |
| 2  | 柴原      | 君江 | 田園調布学園大学人間福祉学部教授      | 副委員長 学 識      |
| 3  | 岡坂      | 健一 | 高津区医師会会長              | 副委員長 保健・医療・福祉 |
| 4  | 冨田      | 誠  | 高津区社会福祉協議会副会長         | 保健・医療・福祉      |
| 5  | 斉藤      | 正彦 | 高津区主任児童委員部会長          | <i>II</i>     |
| 6  | 柏木      | 宏司 | 高津区全町内会連合会役員          | 町内会           |
| 7  | 岡島      | 弘  | 高津区社会福祉協議会事務局長        | 保健・医療・福祉      |
| 8  | 田島      | 耕作 | 高津区老人クラブ連合会会長         | 当事者団体         |
| 9  | 肥後      | 隆  | 高津区身体障害者団体協議会会長       | <i>II</i>     |
| 10 | 田宮      | 義彰 | 悠友館館長                 | II .          |
| 11 | 平本      | 正志 | 社会福祉法人セイワ介護老人福祉施設すえなが | 施設代表          |
| 12 | 加藤      | 伸子 | 区民公募委員                | 区民公募          |
| 13 | 井上      | 知子 | 区民公募委員                | II .          |
| 14 | 手島      | 好子 | 副区長                   | 行政職員          |
| 15 | 鈴木      | 實  | 保健福祉センタ - 所長          | 11            |
| 16 | 雨宮      | 文明 | 保健福祉センタ - 副所長         | 11            |

# 川崎市高津区地域福祉計画

平成 16 年 3 月 31 日発行

発 行 川崎市

編 集 川崎市高津区役所保健福祉センター地域保健福祉課

〒213-8570 川崎市高津区下作延274-2

電話 044-861-3302(ダイヤルイン)

